

opti 2022
ファイナルレポート

国際メガネ・オプティクストレンド専門見本市
 2022年5月13日～15日
 メッセ・ミュンヘン

2022年5月15日

opti 2022 — 2年ぶりの開催で、感動的雰囲気になりあふれる

Summary

- 出展社 25カ国から 368社、来場者 71カ国から 13,000人
- 2023年の opti 開催に早くも期待増



Facts & Data

会 期	2022年5月13日(金)～15日(日)
会 場	メッセ・ミュンヘン
主 催	GHM - Gesellschaft für Handwerksmessen mbH(手工業見本市会社)
規 模	(2020年度:60,000 m ²)
出 展 社 数	25カ国から 368社 (2020年度:39カ国から 605社)
来 場 者 数	71カ国から 13,000人 (2020年度: 95カ国から 27,971人)
主 な 出 展 品	メガネ部品・用品(フレーム、レンズ、チェーン、ストラップ、ケース、クリーニング・ケア用品、交換部品など)、サングラス、保護メガネ・ゴーグル、子供向けメガネ、コンタクト・オプティカル・太陽光保護レンズ、レンズ溶液、レーザー視力矯正技術、検眼・視力検査・眼科機器、補聴器、医師・メガネ製造業向け機器・用品、研磨機、光沢剤、メガネ店舗設備・備品(ショーウィンドウ用品、展示ケース、在庫管理システムなど)、顕微鏡、双眼鏡、暗視機器、コンサルティング、業界団体・媒体など
併 催 プ ロ グ ラ ム	opti フォーラム など
出 展 日 本 企 業 (現法出展など含む)	(株)アサヒオプティカル、青山眼鏡(株)、(株)シード、(株)シャルマン、セイコーオプティカルプロダクツ(株)、タナカフォーサイト(株)、(株)トプコン、(株)ニデック、HOYA(株)、MATSUDA EYEWEAR JAPAN ほか
専 用 U R L	www.opti.de (英語/ドイツ語)

—昨年来のパンデミックによる開催中止を経て、2022年5月13日から15日までドイツ・ミュンヘンで開催された opti 2022 には業界関係者が2年ぶりに集結し、活気あふれる雰囲気の中、再会を喜び合った。

事前に申し合わせして会った人も、期せずして出会った人も、opti 会場は旧知の再会や新しい出会いに満悦の笑顔があふれた。商品に直接触れ、試着し、存分に話し合えるといった対面によるビジネスの再開を誰もが待ち望んでいたのだ。3日間の会期中、71カ国から13,000人が来場。その来場者アンケート結果によれば、来場者の4分の3が業界関係者との幅広い情報交換と充実した商談を目的にしており、対面形式再開への期待の大きさが分かる。



1月から5月へ延期した開催

主催 GHM Gesellschaft für Handwerksmessen の会長ディーター・ドーアは、「今年の opti は見本市自体の再開と関係者との直接対話を喜ぶ特別な雰囲気にもまれていた。開催の決定に遅れはあったものの、5月に延期された opti に多くの出展者が参加してくれたことを大変うれしく思う。出展者、来場者、メディアなど全ての業界関係者が、opti での交流をかつてないほど待ち望んでいた。そして、過去2年間の損失の大きさを皆が認識した」と述べた。

また、25カ国から368の出展者が新しいコレクションや製品、サービスを紹介し、最新の業界ニーズを把握した。Rodenstock 社の Britta Walter 氏は、「今回の opti では、質の高い数多くの商談を進めることができた。ドイツ国外からの多くの顧客とも会うことができ、大変満足している」と語った。

業界団体 SPECTARIS 理事長の Josef May 氏は、「会期を延期しての opti では、来場者数は予想どおりこれまでより多少減ってはいたものの、来場者の質は非常に高く、皆明確な目的を持っていた。opti の会場に戻ってくることができたこともとてもうれしい気分だ。2年間、オンラインやデジタルの場でのいできたが、このようにお互いが目を見て話しができ、商品や技術を実際に見て、触れて、確認することができる場が必要であることは言うまでもない。パンデミックが続く状況下での1月開催は無理だったとしても、5月に延期して開催されたことに大変感謝している」と述べた。

4ホールすべてで活発な商談

会場となった4つのホールでは、どこでも活発な商談が目立った。革新的なメガネのデザインや最新の技術を直接見て、トレンドを読み取ることのできる場に、多くの人々が歓喜した。Central Association of Opticians and Optometrists (ZVA) 会長は、「メガネフレームを試着したり、製造設備について説明を聞いたり、ビジネスの可能性を話し合ったりといった一連のビジネスを可能にする opti は、業界にとって常に不可欠なプラットフォームだ。今回、再び opti 会場に来ることができ、その上多くの人に会うことがで

きてとてもうれしく思う」と語った。Möbel & Raum 社 CEO の Andrea Fritz 氏は、「そもそも今回の opti への出展は、当社の既定路線である。opti は当社のビジネスにとって非常に重要であり、今回も多くの新規顧客に巡り合うことができた」と述べた。



今回初めて opti に出展した Thélios Deutschland GmbH (LVMH Group) 社からも肯定的な感想が聞かれた。同社の Imke Nietfeld 氏は、「当社は、opti 2022 で、当社ブランドの『メゾン』を世界に初めて発表した。さらに、オプティクス業界に向けて当社のブランド・ポートフォリオを紹介し、当社の眼鏡の質の高さを周知することができ

た。会期中多くの新しい顧客と出会うことができ大変満足している」と述べた。

来年 1 月開催の opti へ高まる期待

次回の opti は 2023 年 1 月 27 日から 29 日まで開催される予定であり、その開催に対する期待は随分高まっている。多くの出展者が既に来年の出展申し込みを済ませ、8 カ月後の開催に向けて準備を進めている。今回の来場者へのアンケートでは、2/3 の人が訪問したい唯一の見本市に opti を選んでいる。

LUNOR 社の Thomas Dobler 氏は、「今回、予想を超える来場者の数と質に大変満足している。opti は当社のヨーロッパ市場にとって非常に重要な見本市であり、これからも継続して出展したい」と締めくくった。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.opti.de まで

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)